

製品安全データシート

作成日 2001年 9月21日

改定日 (第 版) 年 月 日

化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : 塗布式防虫剤 P G ガード

会社情報 : 会社名: フマキラー株式会社

住所: 〒101-8606 東京都千代田区神田美倉町11

電話番号 03-3252-5941

緊急連絡先 フマキラー株式会社 開発本部 品質保証部

住所: 〒739-0494 広島県佐伯郡大野町梅原1-11-13

電話番号 0829-55-3438

FAX 番号 0829-55-2432

化学物質等のコード : JANコード:

組成、成分情報

化学特性: 混合物

殺虫成分(トラロメトリン)、忌避剤(ディート)、酸化防止剤、その他の成分を含む精製灯油溶液および液化石油ガス、ジメチルエーテルを充填したエアゾールで、容量が450mLである。

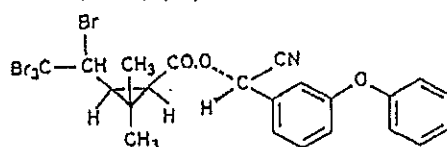
危険有害成分:

ガス: 液化石油ガス(LPG) およびジメチルエーテル(DME) 21.7%

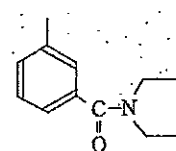
溶液: 殺虫成分(トラロメトリン)、忌避剤(ディート)、酸化防止剤、
その他の成分を2.0%含有する精製灯油溶液..... 78.3%

配合成分の化学式等:

トラロメトリン: (S)- α -シアノ-3-フェノキシベンジル
-(1R,3S)-2,2-ジメチル-3-((1,2,2,2-テトラフルオロエチル)
シクロプロパニル)エーテル



ディート: N,N-ジエチル-m-トルアミド



配合成分の官報公示整理番号:

トラロメトリン 化審法: 3-3892

ディート 化審法: 3-1321

精製灯油 化審法: 2-10

LPG 化審法: 9-1697

DME 化審法: 2-360

配合成分のCAS No.:

トラロメトリン 66841-25-6

ディート 134-62-3

精製灯油 112-40-3

LPG 68476-85-7

DME 115-10-6

危険有害性の要約

最重要危険有害性：引火性のガスおよび液体含んでおり、空気との爆発性混合物を形成しやすい。高温の場所で保管すると容器が破裂し、着火源があれば引火爆発する。
河川に流入すると、魚毒性がある

特定の危険有害性：液化ガスが皮膚に触れると炎症や凍傷を起こす。

応急措置

皮膚に付着した場合：すみやかに石鹸で洗い、水で洗い流す。

目に入った場合：直ちに流水で十分に洗眼し、眼科医の手当を受ける。

吸入した場合：多量の時は速やかに新鮮な空気の場所に連れて行き、深呼吸をさせる。状況に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：ただちに医師の診断を受ける。

火災時の措置

一般的な措置として、速やかに必要な個所に連絡し応援を求める。

適切な消火剤：泡、二酸化炭素、粉末、ハロゲン化物を放射する消火器

特定の危険有害性：1. 薬剤が燃焼すると有毒なガスが発生するので、人を避難させること。
2. 魚毒性が高いので、河川への流入に注意すること。

特定の消火方法：1. 消火活動は必ず風上から行い、空気を遮断する方法で消火する。
2. エアゾール缶が加熱されると、爆発して缶が飛散するので注意する。
3. 周囲のエアゾール缶の加熱を防止するため、散水して冷却する。

消火を行う者の保護：消火活動の際は必ず保護具を着用する。

漏出時の措置

人体に対する注意事項：液化ガスが皮膚に触れると炎症や凍傷を起こすので、注意すること。
精製灯油を含んでいるので、接触や吸入しないよう保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：魚毒性を有するので、井戸、池、河川など水系に大量に流出した場合は、直ちに警察または保健所に届け出る。

2 次 災 害 の 防 止 策：1. 火災を誘発する恐れがあるので、「火気厳禁」の表示など火災防止の措置をすること。
2. 可燃性ガスの漏れについては、付近の着火源となるものを速やかに取り除き、漏洩したガスが滞留しないように注意しながら、水噴霧またはスチームによって拡散させ、着火、爆発を防止する。
3. 液体の漏れについては、引火性があるので着火しないよう注意すること。

回収、中和などの除去方法：液体の漏れについては、オガクズ、土砂等の適当な吸収材で直ちに吸着させる。その後、汚染した個所を洗剤と水でよく洗浄する。使用した吸収材、洗浄水はすべて密閉できる容器に回収する。（処分は「廃棄上の注意」の項に従って行う。措置は保護衣、帽子、保護メガネ、防毒マスク、ゴム手袋、保護靴等の保護具を着用して行う。）

取扱い及び保管上の注意

取扱い

○技術的対策（取扱い者の暴露防止、火災・爆発の防止など：大量の取扱いの場合）

1. 法（消防法）の基準に従った取扱いを行うこと。
2. 危険物の指定数量（第三石油類は2000L、製品に換算すると202ケース）以上の貯蔵および取扱いについては、危険物関係法令に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと
3. 指定数量の1/5を超える危険物の貯蔵および取扱いについては、市町村の火災予防条例に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと。

4. 消防活動阻害物質の数量(L P Gは300kg、製品に換算すると205ケース)以上を貯蔵または取り扱う場合は、あらかじめ所轄の消防署長に届け出ること。
5. 危険物を貯蔵する場合の容器(ダンボール箱)の積み重ね高さは、3m以下とすること。
6. 火気、火花若しくは高温体との接近、過熱を、避けること。
7. 容器(ダンボール箱)を転倒させ、落下させ、衝撃を加えるなどの乱暴な取扱いをしないこと。

○技術的対策(製品の使用方法)

1. 定められた用法・用量を厳守すること。
2. 処理面の汚れ(ホコリ、泥など)を取り除き、約30cmの距離から1 m²あたり13秒間の割合で、均等に濡れるように噴霧する。
3. 噴霧後、約30分間放置して、処理面を乾燥させる。

○注意事項(製品の使用時の注意)

1. 処理後は、なるべく処理面に触れないようにすること。
2. 壁面、プラスチック、木部などに処理する場合は、目立たない場所に噴霧し、異常がないことを確かめてから使用すること。
3. アレルギー症状やカブレなどを起こしやすい体質の人は、薬剤に触れないようにすること。
4. 万一、身体に異常が起きた場合は、使用を中止し、本剤がピレスロイド系の殺虫成分を含む殺虫剤であることを医師に告げて、診療を受けること。
5. 人体用ではないので、人体に向かって噴射しないこと。また、噴霧を直接吸入しないこと。
6. 皮膚についた場合は直ちに石けんと水で充分洗うこと。
7. 眼に入った場合は直ちに充分水洗いし、眼科医の手当を受けること。
8. 飲食物、食器、おもちゃ、飼料などに噴霧がかからないようにすること。
9. 植物、観賞魚、小鳥などのペット類に噴霧がかからないようにすること。特に、本剤には魚毒性があるので、魚類には充分注意すること。
10. 火気の付近で使用しないこと。
11. 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。
12. 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気の近くなど温度が40度以上となる所に置かないこと。
13. 使用後、容器を火中に投じないこと。
14. 使い切って捨てること。

○安全取扱い注意事項(混合接触させてはならない物質など)

1. 火気、火花若しくは高温体との接近、過熱を、避けること。

保 管

○技術的対策(安全な保管など)

○適切な保管条件(大量保管の場合)

1. 法(消防法)の基準に従った貯蔵を行うこと。
2. 危険物の指定数量(第三石油類は2000L、製品に換算すると202ケース)以上の貯蔵および取扱いについては、危険物関係法令に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと。
3. 指定数量の1/5を超える危険物の貯蔵および取扱いについては、市町村の火災予防条例に定められる貯蔵、取扱いの技術基準に従うこと。
4. 消防活動阻害物質の数量(L P Gは300kg、製品に換算すると205ケース)以上を貯蔵または取り扱う場合は、あらかじめ所轄の消防署長に届け出ること。
5. 危険物を貯蔵する場合の容器(ダンボール箱)の積み重ね高さは、3m以下とすること。
6. 火気、火花若しくは高温体との接近、過熱を、避けること。

○適切な保管条件(家庭などでの保管の場合)

1. 子供の手の届かない場所に保管すること。
2. 火気や直射日光を避け、温度の低い場所に保管すること。
3. 缶が錆びてガス漏れや破裂のおそれがあるので、水がかかる所や湿気の多い所に置かないこと。
4. 暖房器具(ファンヒーターなど)の周囲は、温度が上がり破裂する危険があるので置かないこと。

○安全な容器包装材料

該当しない

暴露防止及び保護措置

許 容 濃 度 : A C G I H (T L V) … L P G 1000ppm
保 護 具 :

呼 吸 器 の 保 護 具 … 防毒マスク (有機溶剤用)
手 の 保 護 具 … ゴム手袋
目 の 保 護 具 … 保護メガネ
皮膚及び身体の保護具 … 長ズボン、長袖の作業着、作業帽、保護靴等

物理的/化学的性質

○物理的状态

外 観、性 状: ガスを除いた液は、無色～微黄色の澄明な液体。

臭 い: わずかに芳香を有する。

p H: 不明

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲: 精製灯油 沸点208～210℃

引 火 点: L P G -104.4～-73.8℃ DME -41.1℃ 精製灯油 85℃

発 火 点: L P G 405～550℃ DME 350℃

爆 発 特 性: L P G 1.8～9.5% DME 3.4～27.0%

蒸 気 圧: L P G 1.275～0.278Mpa(40℃) DME 507kPa(20℃)

蒸 気 密 度: L P G 1.58～2.12 DME 1.59

密 度: ガスを除いた液は、0.749 (25℃)

溶媒に対する溶解性: ガスを除いた液は、有機溶剤に溶解する。

水に対する溶解度: ガスを除いた液は、水に不溶。

安定性及び反応性

安 定 性: 自然条件下で安定

特定条件下で生じる危険な反応: 高温下でエアゾール缶が破裂する。

水回りや高温な場所に保管すると、缶が錆びてガスや原液が漏れる。

避けるべき条件: 高温、高湿度

危険有害な分解生成物: 薬剤が燃焼すると有毒なガスが発生する

有害性情報

急性毒性:

トラロメトリン(25%含有品):

急性経口 LD₅₀ ラット ♂510 ♀455 (mg/kg)

急性経皮 LD₅₀ ラット ♂♀>5,000 (mg/kg)

ディート: 急性経口 LD₅₀ ラット ♂1.8～2.7 ♀1.75～1.8 (mL/kg)

精製灯油: 急性経口 LD₅₀ ラット >15,000 (mg/kg 推定値)

L P G: 急性吸入 ヒト 10,000ppm/短期曝露—なんら症状なし

ヒト 100,000ppm/短期曝露—数分吸入後にめまい

DME: 急性吸入 LC₅₀ ラット 308 (g/m³)

マウス 386 (ppm 15分)

局 所 効 果:

トラロメトリン(25%含有品): 刺激性 うさぎ 皮膚—あり 眼—あり

ディート : 刺激性 うさぎ 皮膚—軽度の刺激性あり

L P G : 刺激性 ヒト 皮膚—あり 眼—あり

麻醉性 ヒト 若干の麻醉性あり

DME : 刺激性 皮膚—極めて少ない 眼—極めて少ない

感 作 性:

特定の影響:

DME : 変異原性 なし

催奇形成 なし

環境影響情報

生態毒性：魚毒性は以下の通り
トラロメトリン 水生生物に有害

廃棄上の注意

1. 少量廃棄の場合は、火気のない戸外でボタンを押して使いきったことを確認し、空缶として捨てる。
 2. 大量に廃棄する場合は、着火源となる火気や静電気の発生を防止した処理設備で、防爆構造の破砕機等を使用し、排出された可燃性ガスが爆発濃度に達しないよう措置を講じて行う。回収される液体は危険物のため、消防法等の基準に従って適切に取り扱い、廃ガス処理設備のついた焼却炉で焼却する。
-

輸送上の注意

国連分類・番号：クラス2(高压ガス：引火性ガスおよび引火性液体を含む)・1950

陸上(鉄道/道路)：荷送者は運送者に運転注意書を交付する。

内陸水路：海上輸送に準じる

海上：船舶安全法の定めに従うこと。

航空：航空安全法の定めに従うこと。

- 一般的注意事項：
1. 法(消防法等)の運送基準に従って行うこと。
 2. 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み荷くずれの防止を確実に行う。
 3. 車両・船舶にはゴム手袋、マスク等の保護具を備えるほか、異常時の処置に必要な消火器、工具などを備えておく。
-

適用法令

消防法 第4類 第三石油類 (2000L)

届出物質(LPG)(300kg)

高压ガス保安法：可燃性ガス

船舶安全法：別表第2(高压ガス)

航空法：別表第2(高压ガス)

その他の情報

上記資料の出典：トラロメトリン(25%含有品) MSDS

ディート 殺虫剤指針

精製灯油 製品規格

LPG MSDS

DME MSDS